

「報道資料」

沖縄県大宜味村  
沖縄セルラー電話株式会社

## 県内初 ICT を活用した 完全密閉型イチゴ（美ら島ベリー）栽培開始のお知らせ

～ICT 技術を用いた高度施設園芸のソリューション事業への取り組み～

沖縄県大宜味村（村長：宮城功光、以下大宜味村）と、沖縄セルラー電話株式会社（代表取締役社長：湯浅英雄、以下沖縄セルラー）は、大宜味村にある大宜味村企業支援賃貸工場内で、2017年8月9日から県内初の ICT を活用した完全密閉型イチゴ（美ら島ベリー）栽培を開始することをお知らせいたします。

イチゴ栽培は、収量に差がでやすく熟練の栽培ノウハウが必要であることや、露地栽培における野菜類、果実類の中で農薬回数が多いことへの課題を沖縄セルラーの植物工場(注)で培った ICT のノウハウを活用し、解決していきます。

※イチゴ栽培のノウハウは、大規模イチゴ室内栽培を行っている日清紡ホールディングス（株）から技術提供を受け、気候や水質等の沖縄独自の栽培条件に合う様調整していきます。

※完全密閉型のイチゴ栽培は県内初の取り組みとなります。

### 【イチゴ（美ら島ベリー）栽培工場概要】

- イチゴブランド名称：美ら島ベリー（ちゅらしまベリー）
- 施設名称：大宜味村企業支援賃貸工場
- 所在地：大宜味村字塩屋 1306-71 番地
- 工場床面積：1,176 m<sup>2</sup>（約 355 坪）
- 工場竣工：2017 年 11 月予定
- 栽培株数：約 20,000 株
- 栽培方式：多段式（5 段）水耕栽培
- 収穫時期（予定）：2018 年 5 月
- 総工費（概算）：約 1.8 億円
- 工場内人数：5 名（本事業にかかる人員はすべて地元雇用を前提としています）



日清紡ホールディングス 藤枝事業所

(注)沖縄セルラーは、平成 25 年 12 月より植物工場の稼働を開始しました。25 坪の実証工場からスタートし、自ら栽培・販売を行ってきました。平成 27 年 12 月に第 2 工場（50 坪）の増設を行い、現在、2 つの工場で日産約 1,000 株のレタス系の葉野菜やバジルを栽培、出荷しています。



沖縄セルラーは、ICT 技術を用いた高度施設園芸のソリューションによる事業を確立させ、沖縄県農業産業の発展に寄与していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ

沖縄セルラー 総務部 広報担当：大城 TEL：098-953-3153